

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		環境と共生できる産業の支援		款	3	項	5	目	1	事業	5	整理番号	101						
担当部課名		区民生活部産業振興課		係名	産業支援・相談係		連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	95								
上位施策No・施策名		44 新しい産業の育成・支援		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	2	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 みどりの産業分野で創業を予定している個人、もしくは法人、または創業3年未満の個人・法人。求職者・事業者。																	
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○創業支援：都市型ビジネス事業者の開業促進 ○就労相談：求職者に対し自己に適した職業選択や就労に関する様々な相談・情報提供																	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	○創業予定者及び創業後間もない人に対するSOHO事務所の貸与 ○ハローワーク新宿、東京商工会議所、中野区との共催による就職面接会の企画・運営 ○専門相談員（キャリアカウンセラー）による就労相談・情報提供																	
根拠法令等		(1) 杉並区創業支援施設運営要綱 (2) 職業安定法																	
活動指標名(式)		(1) 講座・セミナー実施回数 (2) 就労相談実施回数																	
成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		講座・セミナー参加者数																	
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)		就労相談利用者数																	
算定式・指標の説明等																			
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	回	10	4	10	5	1	5	20.0									
	活動指標(2)	②	日	48	48	48	48	50	48	104.2									
	成果指標(1)	③	人	137	200	210	200	151	200	75.5									
	成果指標(2)	④	人	143	288	148	300	203	300	67.7									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,364	12,222	10,877	10,945	9,285	10,328	22年度予算執行率% 84.8									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	71	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	4,554	4,790	4,713	3,793	3,525	3,381										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.90 0.00	1.80 0.00	1.96 0.00	1.30 0.00	1.39 0.00	0.90 0.50										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	17,195	15,982	17,403	11,596	12,399	8,028									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	1,475									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	27,559	28,204	28,280	22,541	21,684	19,831										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	2,755,900	7,051,000	2,828,000	4,508,200	21,613,000	3,966,200										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	2,976	3,243	2,970	2,943	2,651	2,943									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0												
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0													
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0													
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	2,976	3,243	2,970	2,943	2,651	2,943										
差引：一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	24,583	24,961	25,310	19,598	19,033	16,888										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	10.8	11.5	10.5	13.1	12.2	14.8											

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 101

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		セミナー(起業支援セミナー、経営セミナー等)業務委託	1	回	98
		就労相談業務委託	50	日	1,050
		阿佐谷キック・オフ/オフィス運営	9	室	7,721
		その他 ( )			
(2) 事業実績	キック・オフ/オフィスは、入居期限満了で空室が発生すると入居希望者が必ずあり、常時ほぼ満室の状況でしたが、2室の空きが続きました。 「福祉のおしごとフェア」における就職セミナー及びキャリアカウンセリングは、求職者に対し、面接のワンポイントアドバイス等実践的な講義内容で実施しました。 就労相談専門相談員(キャリアカウンセラー)が区民の就労等に関しアドバイスをを行い、就労支援を行いました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	阿佐谷キック・オフ/オフィスは、JR阿佐ヶ谷駅近接という立地条件及び施設内の情報通信環境も整備されており、入居者から好評です。入居者の事業分野は、情報通信・コンピュータソフトなどが多く、入居者同士の仕事のやりとりもあります。入居者のうち、10事業者が区内で起業しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	起業家養成講座は受講者によって起業意識に差があるため、受講者のニーズにあった講座内容が望まれています。また、講座参加者からは、区からの援助・委託事業などを期待する声があります。就労相談では、履歴書の書き方や面接のノウハウなど、実践的な指導により就職に役立ったとの声が寄せられています。
	今後の予測	会社創業時の資本金額の要件緩和や団塊世代の大量退職などにより、起業を目指す人は今後、増えていくことが予測されます。このような状況に区として対応し、支援をしていくために当事業の必要性はますます高まるものと考えられます。また、世界的不況の中で求人倍率の急激な向上は望めず、就労相談の役割は増すものと推測されます。
評価と課題		杉並区独自の就労相談を行っていますが、具体的な職業あっせんは行っていないため、事業内容の充実した東京しごとセンター、ハローワーク新宿の事業にうまく繋げていく工夫をしていくことが求められます。 阿佐谷キック・オフ/オフィスは、経営が厳しくなった事業所を救う手立てや、利用期間終了後引き続き区内事業者となるための方策など、今後のあり方を検討します。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	キック・オフ/オフィスは、地域経済の活性化のためにも必要な支援施設です。ただし、現在の施設では事業情報の機密性などに問題があり、完全個室となるような事務室を完備した施設への移転・新設が求められています。 インキュベーションマネージャーが経営のノウハウなどの相談を受けるなど、入居者の支援をしていますが、区内の産業団体との連携が希薄となっているので、今後は関連する団体との連携も必要となってきます。 「すぎなみで働こう」キャンペーンと銘打ち、ハローワーク新宿、東京商工会議所、東京しごと財団、中野区との合同開催や介護保険課と協力して年に数回、面接会やセミナーを開催し、就労への橋渡しを積極的に行います。		

特記事項	
------	--

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		アニメの杜すぎなみ		款	3	項	5	目	1	事業	6	整理番号	102						
担当部課名		区民生活部産業振興課		係名	地域産業観光係		連絡先電話番号	3077		昨年度整理番号	96								
上位施策No・施策名		44 新しい産業の育成・支援		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	3	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民、アニメ産業関係者、アニメーターを目指す人、アニメに関心のある人																	
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○アニメに親しむ機会を提供し、「アニメのまち杉並」の知名度を高め、アニメ産業の振興を図る。 ○杉並をアニメーションのメッカにする(経営基盤強化、事業拡大、インフラ整備の支援) ○企業と人材のネットワークをつくる(ネットワーク化、創業・人材育成支援)																	
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○アニメーションフェスティバルの開催 ○区内アニメ制作会社の協力によるインターンシップ制のアニメーター育成事業「杉並アニメ匠塾」の実施 ○区公式アニメキャラクター「なみすけ」の区民と区とのコミュニケーションツールとしての活用と、知的財産権に基づくライセンスビジネスの展開																	
根拠法令等		(1) (2)																	
活動指標名(式)		(1) アニメーションフェスティバル来場者数 (2) 研修受入数																	
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		アニメーションフェスティバル来場者数																	
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)		研修修了者の内、実際にアニメ制作会社に就職した人数																	
算定式・指標の説明等																			
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %									
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画												
指標	活動指標(1)	①	人	13,011	8,000	10,516	9,000	10,091	-	112.1									
	活動指標(2)	②	人	8	8	7	8	8	-	100.0									
	成果指標(1)	③	人	13,011	8,000	10,516	9,000	10,091	-	112.1									
	成果指標(2)	④	人	8	7	6	7	8	-	114.3									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	42,637	21,220	20,102	16,771	14,849	6,377	22年度予算執行率% 88.5									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	33,299	13,517	12,400	9,571	8,389	5,477										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.28 0.00	2.00 0.00	2.25 0.00	1.60 0.00	1.80 0.00	1.00 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	20,634	17,758	19,978	14,272	16,056		8,920								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	63,271	38,978	40,080	31,043	30,905	15,297										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	4,863	4,872	3,811	3,449	3,063											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	648	0	0	0		0								
		国からの補助金等	⑭	千円	2,000	0	0	0	0		0								
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0		0								
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0		0								
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	2,000	648	0	0	0	0										
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	61,271	38,330	40,080	31,043	30,905	15,297										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0											

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 102

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				アニメーションフェスティバルの共催	1
		アニメキャラクターグッズ制作委託	13000	個	3,804
		杉並アニメ匠塾運営等業務委託 研修受入数	8	人	3,975
		アニメキャラクターデザイン委託	29	件	476
		その他 ( 需用費 ほか )			710
	(2) 事業実績	アニメーションフェスティバルは、区内アニメスタジオや女子美術大学、日本動画協会等と協力し、1万人以上の来場者がありました。また、アニメ匠塾受講者8名全員が区内アニメスタジオに就職しました。アニメキャラクター「なみすけ」の普及では、新たに携帯コンテンツ会社3社とライセンス契約を結び、着せ替えツール等の配信を開始するなど、区民と区をつなぐコミュニケーションツールとして更なる普及を図りました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年、「文化芸術振興基本法」でアニメを「メディア芸術」の一つと定義し、振興を図ることが謳われました。同年、三鷹の森ジブリ美術館開館。平成14年、都が新世紀東京国際アニメフェア開催。平成18年、経産省が「アニメーター養成プロジェクト」開始。平成20年、練馬区が「アニメ基本構想」策定。平成22年、経産省が「産業構造ビジョン2010」でアニメを文化産業の一つとして成長戦略に位置付けました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成22年度は、区政相談課を通して、東京国際アニメフェアへの出展の拡大を求めのご意見をいただきました。
	今後の予測	文化庁で「国立メディア芸術総合センター」の検討が進められています。都は東京国際アニメフェア開催のほか、アニメで観光客を誘致します(産業振興指針2011)。練馬区は「地域共存型アニメ産業集積活性化計画」で施設面での支援や専門学校誘致を検討します。
	評価と課題	杉並アニメーションフェスティバルは、東京国際アニメフェアの開始に伴い、事業拡大を図る見本市から、子ども・家族向けイベントに開催趣旨を変更しました。また、アニメ匠塾により、人材育成に一定の成果を得ましたが、創業や経営基盤強化、情報通信システム等のインフラ整備の拡充には至っていません。アニメ制作会社のネットワーク化を図る目的で設立されたアニメ振興協議会の加入は、全体の3分の1にとどまっています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ○ 現状維持      ● 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
		アニメ産業が持つ特質から見て、その育成・支援には広域的な取組が必要であり、区が効果的な育成・支援を行うことは困難です。しかし、これまでの取組によって「アニメのまち杉並」の認知度は向上していると思われます。このため、「アニメの杜すぎなみ」は、アニメ産業の育成・支援策としては廃止し、アニメを活用した商店街振興等地域の活性化策としての観点で事業を抜本的に見直し、再編します。これにより「杉並アニメ匠塾」は廃止し、アニメーションフェスティバルは23年度は休止し、地域活性化策として事業見直しを検討します。具体的には、平成23年4月から所管課内での検討をはじめ、7月を目途に部内で方向性を決め、9月には最終案をまとめます。	

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		アニメーションミュージアム運営		款	3	項	5	目	1	事業	7	整理番号	103
担当部課名		区民生活部産業振興課		係名	地域産業観光係		連絡先電話番号	3077		昨年度整理番号	97		
上位施策No・施策名		44 新しい産業の育成・支援		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 区民、アニメ産業関係者、区外来場者 (2)				
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○区のアニメーション振興の核となる施設とする。 ○国が計画しているアニメーションセンターの区誘致のための先行投資的な取組みとして展示内容の充実を図る。 (平成15年9月12日経営会議)						活動指標名(式) (1) 年間来場者数 (2) 開館日数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○常設展、年四回の企画展、アニメ政策体験の実施 ○アニメ関係者のインタビュー映像の制作・保存 ○地域子どもやシニア層との交流を深めるアニメワークショップ等の開催						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 1日あたり来場者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	人	53785	50000	57928	55000	50420	40000	91.7			
	活動指標(2)	②	日	305	306	306	303	288	268	95.0			
	成果指標(1)	③	人	177	164	189	180	175	150	97.2			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	75,276	67,904	66,225	63,886	62,157	60,177	22年度予算執行率%	97.3		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内) 委託費	⑦	千円	60,902	59,249	58,567	56,163	55,396	50,760				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.14   0.00	1.00   0.00	1.13   0.00	1.00   0.00	1.00   0.00	1.40   0.00				
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,317	8,879	10,033	8,920	8,920	12,488			
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	85,593	76,783	76,258	72,806	71,077	72,665				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,591	1,536	1,316	1,324	1,410	1,817				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	1,000	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	1,000	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	84,593	76,783	76,258	72,806	71,077	72,665				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 103

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				アニメーションミュージアム運営業務委託	1
		建物総合維持管理等委託			8,874
		光熱水費			4,451
		広告物デザイン制作委託及びミュージアム広告物掲出業務委託	1	件	590
		その他（資料収集・事務処理委託・通信運搬費ほか）			3,046
	(2) 事業実績	企画展を3箇月間ずつ4回開催しました。区内スタジオ等が制作した劇場公開作品を紹介するミニ企画展を開催し、イベントを実施するなどの区内アニメ産業の支援を実施しました。高齢者対象のワークショップを実施し、また、修学旅行や海外からの旅行者を積極的に受け入れるなど、新たなアニメファンの発掘に取り組みました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年、三鷹市に三鷹の森ジブリ美術館が開館しました。平成15年、練馬区の東映アニメーション本社、大泉スタジオ内に東映アニメーションギャラリーが開設されました。平成18年、千代田区の秋葉原に東京アニメセンターが開設されました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成22年度は、区政相談課を通じて、アニメーションミュージアムの存続を求めるご意見をいただきました。
	今後の予測	文化庁で「国立メディア芸術総合センター」の検討が進められています。練馬区は「地域共存型アニメ産業集積活性化計画」でアニメ制作や作品を紹介するアミューズメント施設の整備支援について検討しています。
	評価と課題	来館者がアニメの世界を楽しむ施設になっており、区のアニメーション振興の核とはなっていません。国が計画しているアニメーションセンターの区誘致については未着手です。アニメーションミュージアムを設置している杉並会館が老朽化しています。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	アニメ産業が持つ特質から見て、その育成・支援には広域的な取組が必要であり、区が効果的な育成・支援を行うことは困難です。しかし、これまでの取組によって、「アニメのまち杉並」の認知度は向上していると思われます。今後は、アニメを活用した商店街振興等地域の活性化策としての観点で事業を抜本的に見直し、再編することが課題です。アニメーションミュージアムについては、アニメ産業の育成・支援策としては廃止し、アニメを活用した商店街振興等地域の活性化策としての観点で事業を抜本的に見直し、再編します。具体的には、平成23年4月から所管課内での検討をはじめ、7月を目途に部内で方向性を決め、9月には最終案をまとめます。		

特記事項	
------	--